

食品ロスに関するアンケート調査結果（第五回）

ハウス食品グループ本社では、「食品ロスの削減の推進に関する法律（以下、略称：食品ロス削減推進法）」が公布後・施行前だった 2019 年 7 月から、お客様（ハウス食品グループ本社の会員サイト登録者）に向けて「食品ロス」に関するアンケート調査を実施しています。

2022 年 5 月に五回目となるアンケート調査を実施しました。

1. 目的

「食品ロス削減の認知率」や「家庭における食品ロスの実態」を知る。
食に携わる企業として、食品ロス削減の取り組みや発信に繋げる。
継続的に調査を実施することで、食品ロスの認知率や実態の変化を把握していく。

2. 対象

ハウス食品グループ本社の会員サイトに登録いただいているお客様
有効回答数 7,226（全国 10～90 代男女、性別：男性 2,113、女性 4,872、不明 241）

3. アンケート実施期間

2022/5/12～5/16（第一回：2019/7/2～7/8、第二回：2020/6/29～7/6、
第三回：2021/1/22～1/29、第四回：2021/9/3～9/8）

4. 方法

インターネット調査

5. 調査項目

- Q1.食品ロス（フードロス）をご存じですか？（単一選択*以下略称：SA）
Q2.食品ロス（フードロス）が「事業系」と「家庭系」に分けられることをご存じですか？（SA）
Q3.食品や食材を捨ててしまう頻度を教えてください（SA）
Q4.捨ててしまいがちな食品・食材を教えてください（複数選択*以下略称：MA）
Q5.最近捨ててしまった食品・食材を具体的に教えてください（自由回答*以下略称：FA）
<以下設問には、子どもの方に回答いただきました> 有効回答数：1,796、18 歳以下：1,532
Q6. お子さまは、「食品ロス（フードロス）」という問題をご存じですか？
Q7. お子さまといっしょに「食品ロス」を減（へ）らすために、やっていることを教えてください（SA）

6. その他・補足

百分率（%）は小数点第二位で四捨五入し、小数点第一位までを算出しました。

*百分率の合計値が 100%とならない場合がございます。

*年代・性別が不明だった 241 名は、年代別のデータからは除外しました。

* Q4・Q5：食品・食材の回答で「無し」「特に無い」等は、順位から除外しました。

データの 無断利用 はご遠慮ください。

【データの転載・利用についての問い合わせ先】

ハウス食品お客様相談センター <https://housefoods.jp/inquiry/index.html>

TEL：0120-50-1231（土・日・祝日を除く *受付時間は上記 URL から確認願います）

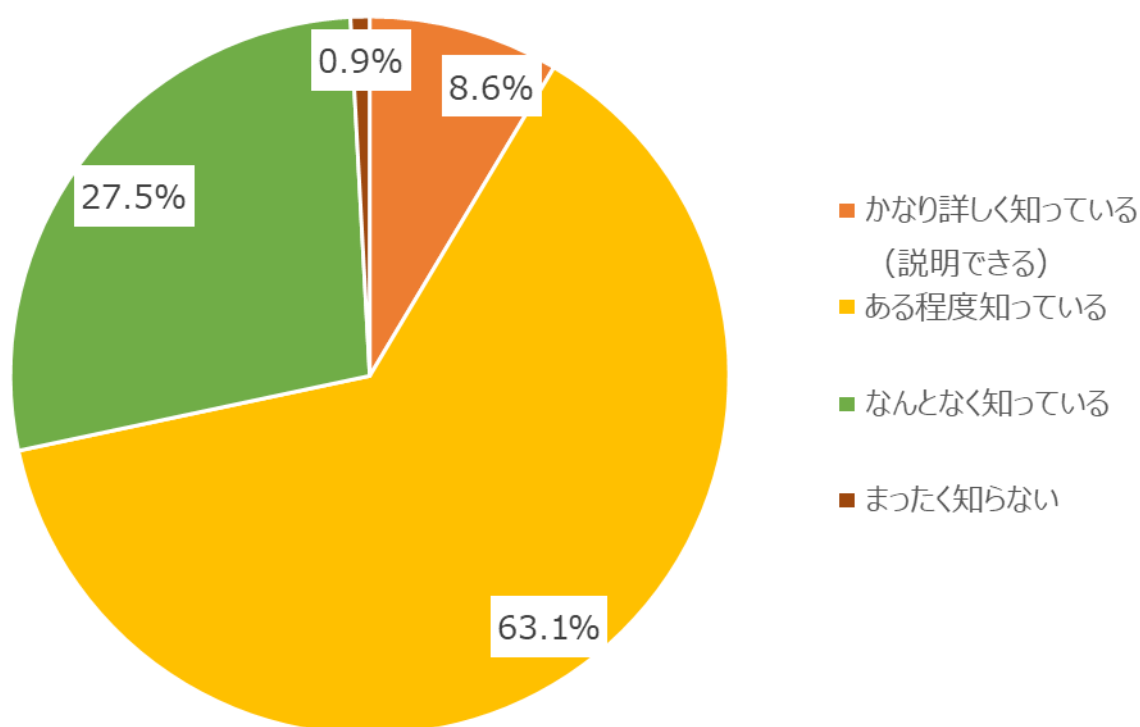
【調査結果】

1-1.食品ロス問題の認知率（知っている割合）

認知率は、「ある程度知っている」以上の回答が71.7%、「なんとなく知っている」を加えると99.1%となり、過去最高の認知率となりました。食品ロスに関するアンケートを継続的に実施していることや、食品ロスに関する情報や話題の総量が増えたことに伴い、認知が上がっていると推測します。

グラフ 1-1.食品ロス問題の認知率

SA、n=7,226



【過去比較】1-1.食品ロス問題の認知率（知っている割合）の増減

調査の回を追うごとに「まったく知らない」「何となく知っている」が減少し、「知っている」「ある程度知っている」が増加するという傾向が続いています。「食品ロス」という言葉だけでなく、内容の理解やどのようにして減らしていくかについても、徐々に浸透していると考えています。

【過去比較】1-1.食品ロス問題の認知率の増減 SA、n 数は下表に記載

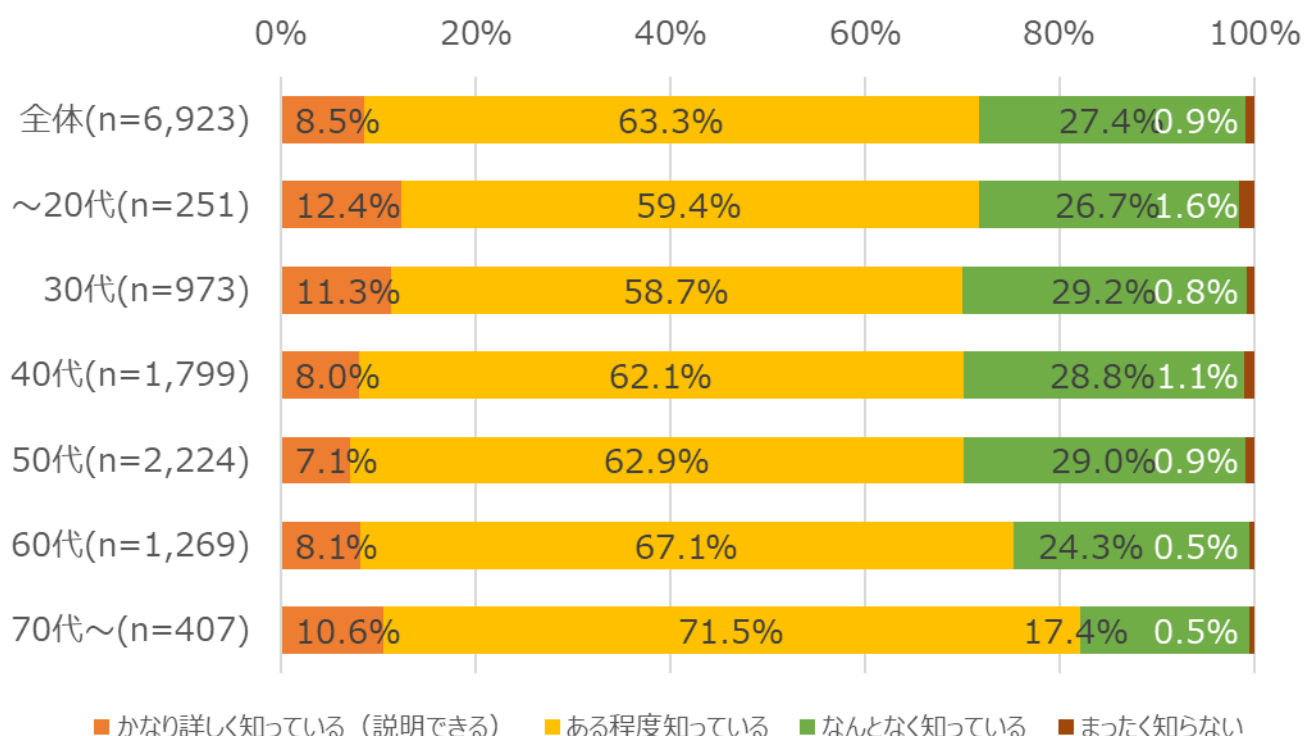
	第五回	第四回	第三回	第二回	第一回	2022年5月－ 2019年7月増減
	2022年5月 n=	2021年9月	2021年1月	2020年7月	2019年7月	
かなり詳しく知っている（説明できる）	8.6%	8.2%	6.5%	6.0%	4.9%	3.7%
ある程度知っている	63.1%	62.9%	59.1%	57.4%	45.7%	17.4%
なんとなく知っている	27.5%	27.7%	32.4%	34.0%	39.5%	-12.0%
まったく知らない	0.9%	1.2%	2.0%	2.7%	9.9%	-9.0%

1-2.食品ロス問題の認知率（年代別）

「知っている」割合は、年代が高くなるほど増加し、「まったく知らない」割合は年代が高くなるほど減少する傾向で、過去の調査と同じ傾向が続いています。20代以下・30代の「詳しく知っている」割合が前回より上昇しており、若年層における認知・非認知の二極化が進んでいると考えています。

グラフ 1-2.食品ロス問題の年代別認知率

SA、n=6,923

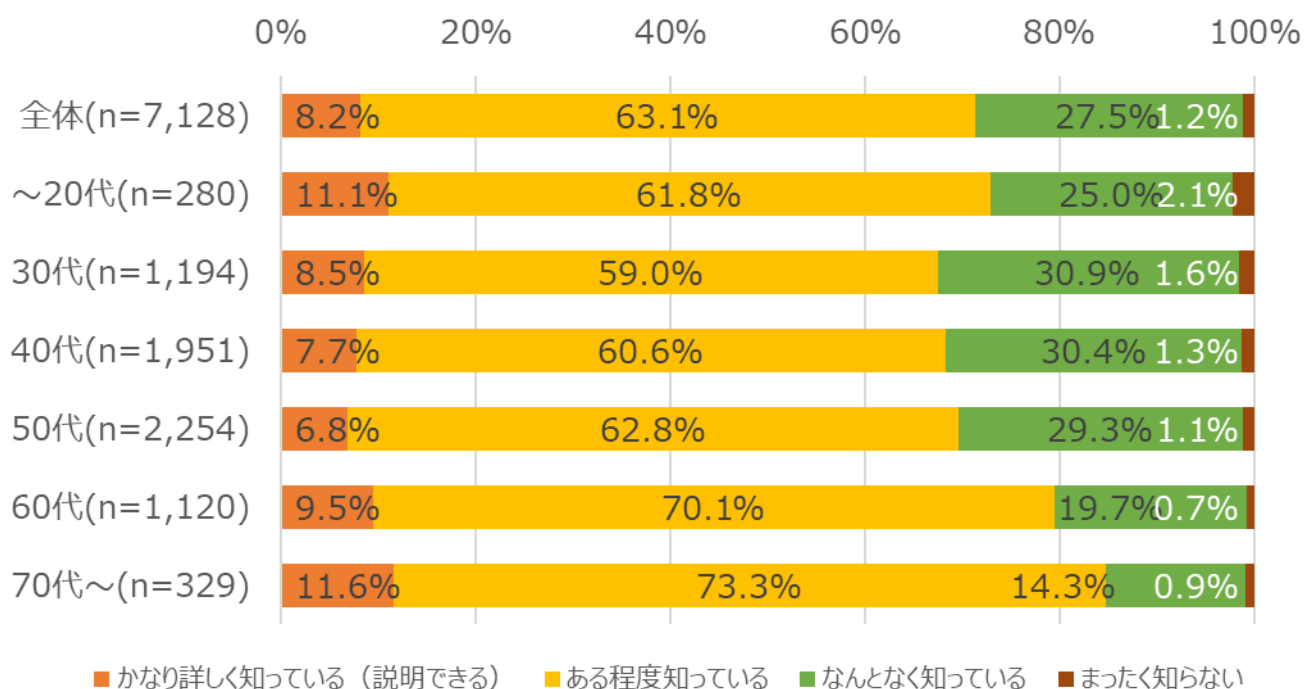


【前回】1-2.食品ロス問題の認知率（年代別）

「知っている」割合は年代が高くなるほど増加し、「まったく知らない」割合は年代が高くなるほど減少するという傾向が出ていました。

【前回】グラフ 1-2.食品ロス問題の年代別認知率

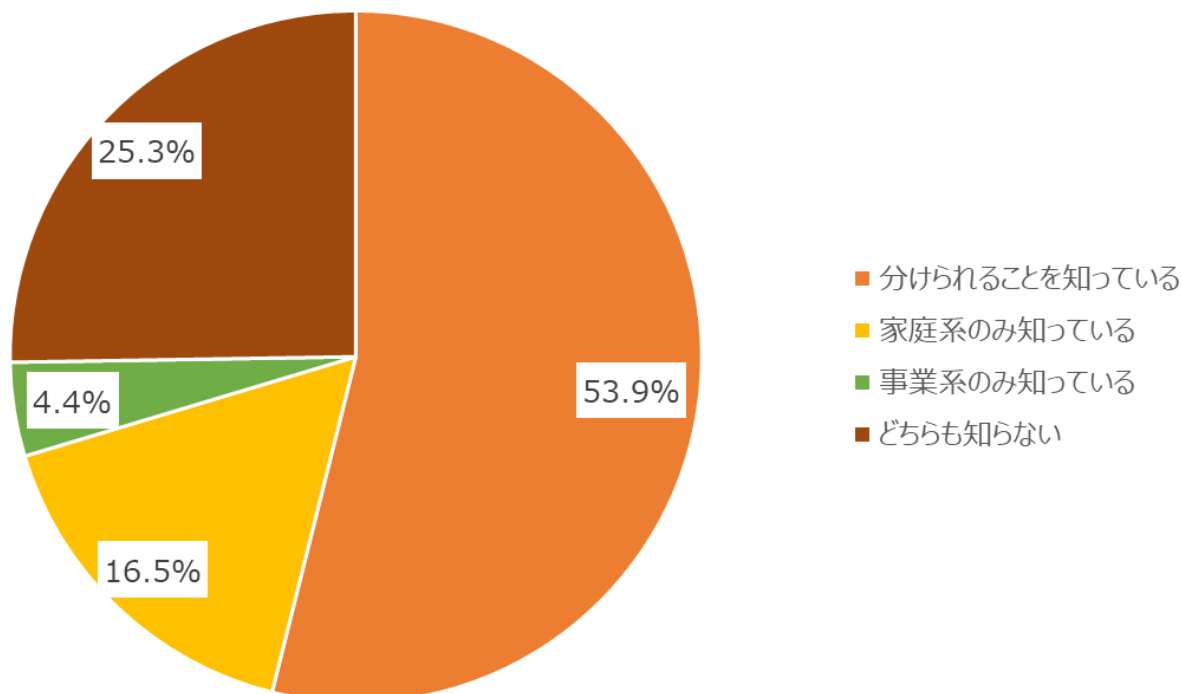
SA、n=7,128



2-1.食品ロス問題（内訳）の認知率

食品ロスが事業系と家庭系に分けられることを「知っている」は 53.9%で、前回より 1.2%減りました。「家庭系のみ知っている」が 16.5%で前回より 2.7%増加。「事業系のみ知っている」が 4.4%で前回より 1.3%減少。「どちらも知らない」が 25.3%で前回とほぼ同率でした。食品ロス問題の内訳の認知・理解については、日常生活で身近な「家庭系」を中心に高まっていると推測します。

グラフ 2-1.食品ロス問題（内訳）認知率 SA、n=7,226



【過去比較】2-1.食品ロス問題（内訳）の認知率増減

調査の回を追うごとに増えていた「知っている」の割合ですが、今回は前回（2021 年 9 月）を下回りました。「事業系のみ知っている」の割合は調査を重ねるごとに減少しています。食品ロス問題は事業だけではなく、家庭でも発生しているということの理解が進んでいると推測します。しかし「家庭系のみ知っている」割合も増えてきているため、事業系食品ロスも含めて、正しく知っていただける取り組み・活動が必要と考えています。

【過去比較】2-1.食品ロス問題（内訳）認知率増減

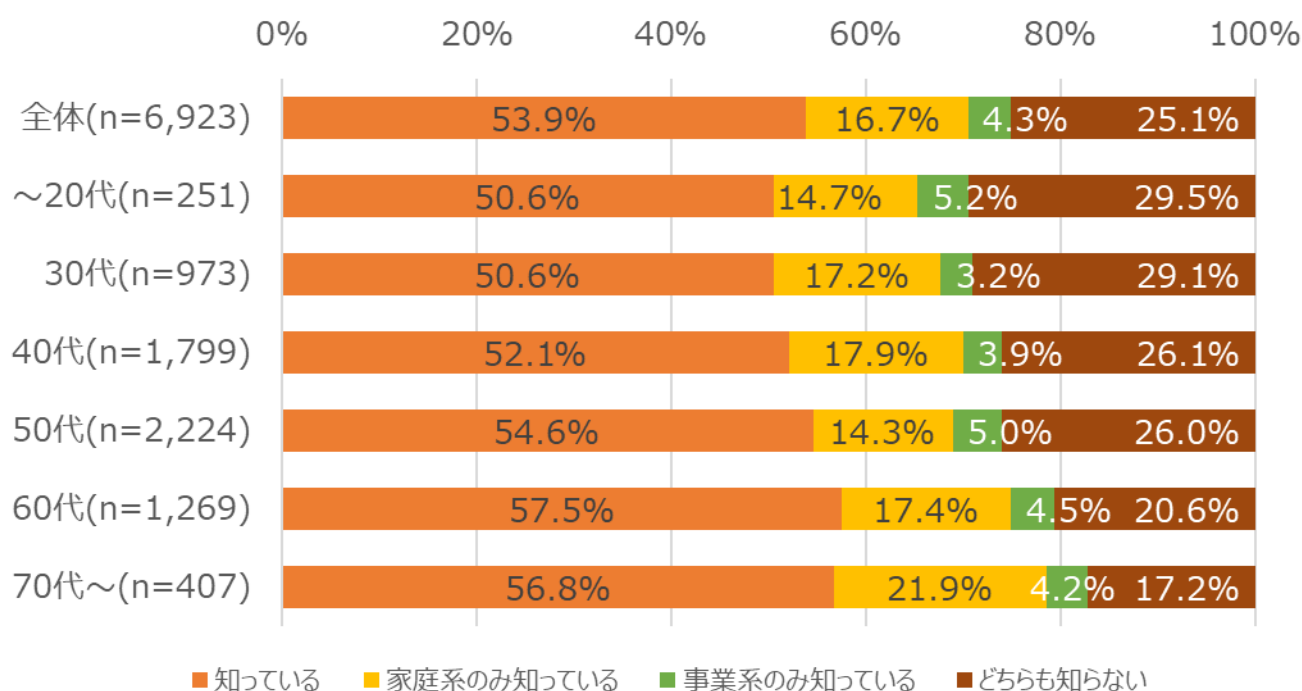
SA、n 数は下表に記載

	第五回 2022年5月 n=	第四回 2021年9月	第三回 2021年1月	第二回 2020年7月	第一回 2019年7月	2022年5月－ 2019年7月増減
知っている	53.9%	55.1%	51.3%	46.5%	48.0%	5.9%
家庭系のみ知っている	16.5%	13.8%	11.3%	11.7%	8.3%	8.2%
事業系のみ知っている	4.4%	5.7%	8.7%	11.2%	14.8%	-10.4%
どちらも知らない	25.3%	25.4%	28.7%	30.7%	28.9%	-3.6%

2-2.食品ロス問題（内訳）の認知率（年代別）

年代が上がるほど食品ロスが「家庭系」と「事業系」とに大分されるということを「知っている」の割合が増加。若年層ほど「どちらも知らない」の割合が増える傾向です。

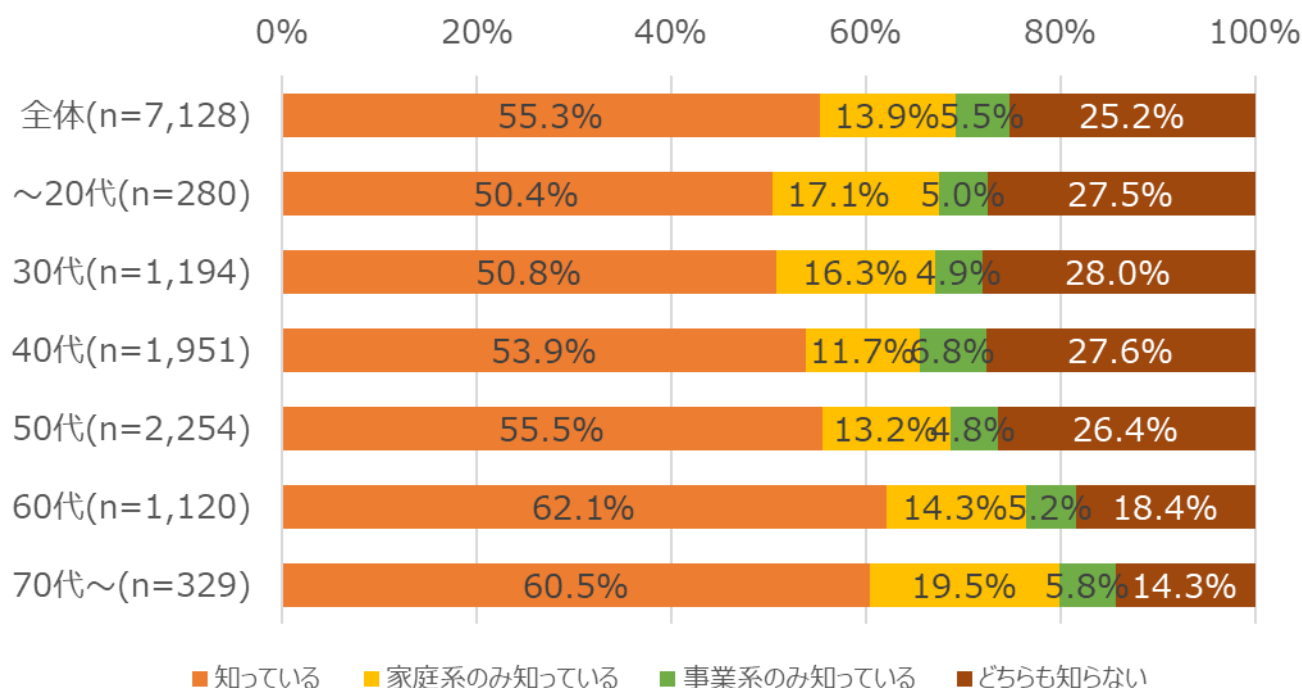
グラフ 2-2.食品ロス問題（内訳）年代別認知率 SA、n=6,923



【前回】2-2.食品ロス問題（内訳）の認知率（年代別）

「家庭系」「事業系」と大分されることの認知率は、年代が上がるほど高くなる点は前回も同じ傾向でした。

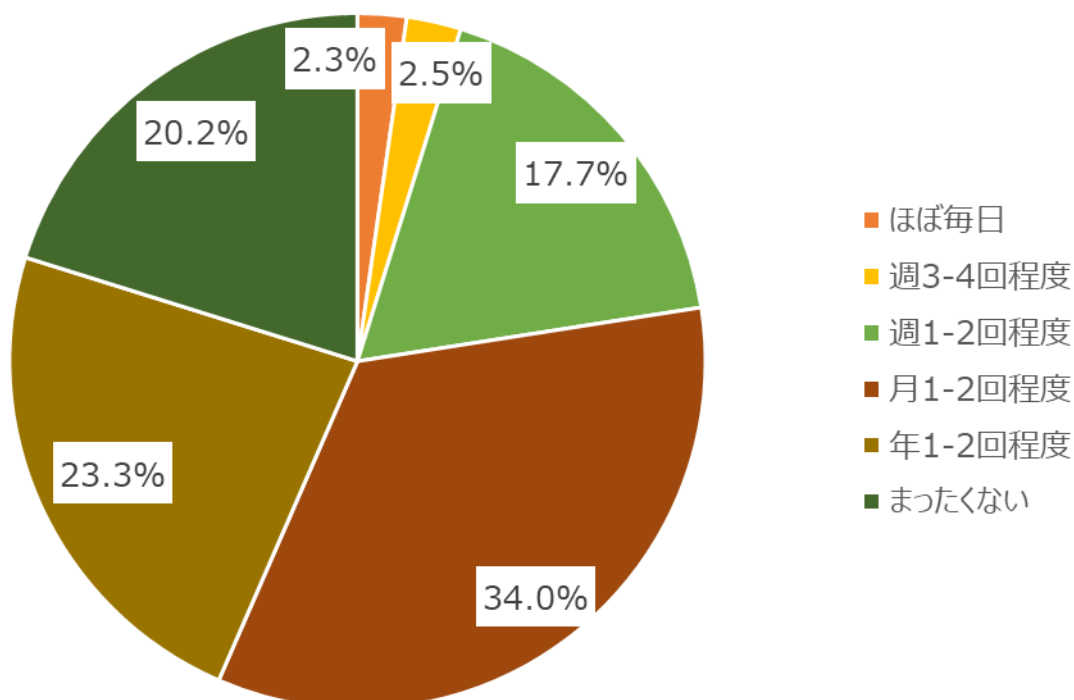
【前回】グラフ 2-2.食品ロス問題（内訳）年代別認知率 SA、n=7,128



3-1.食品・食材を捨ててしまう（食品ロスにしてしまう）頻度

捨ててしまう頻度は、「ほぼ毎日」から「月 1～2 回」と回答した方が 56.5%となりました。食品ロスが月 1 回以上発生してしまっている割合は、前回（59.1%）より 2.6%減りました。「まったくない」は 20.2%で、今までで最も多い割合でした。

グラフ 3-1.食品ロス発生頻度 SA、n=7,226



【過去比較】3-1. 食品・食材を捨ててしまう（食品ロスにしてしまう）頻度

捨ててしまう頻度は、「ほぼ毎日」から「週 3～4 回」の割合はほぼ変化が無く、「週 1-2 回」から「月 1-2 回」の割合が減るという傾向が続いています。「まったくない」の割合が徐々にですが増えている点はポイントの 1 つと考えています。

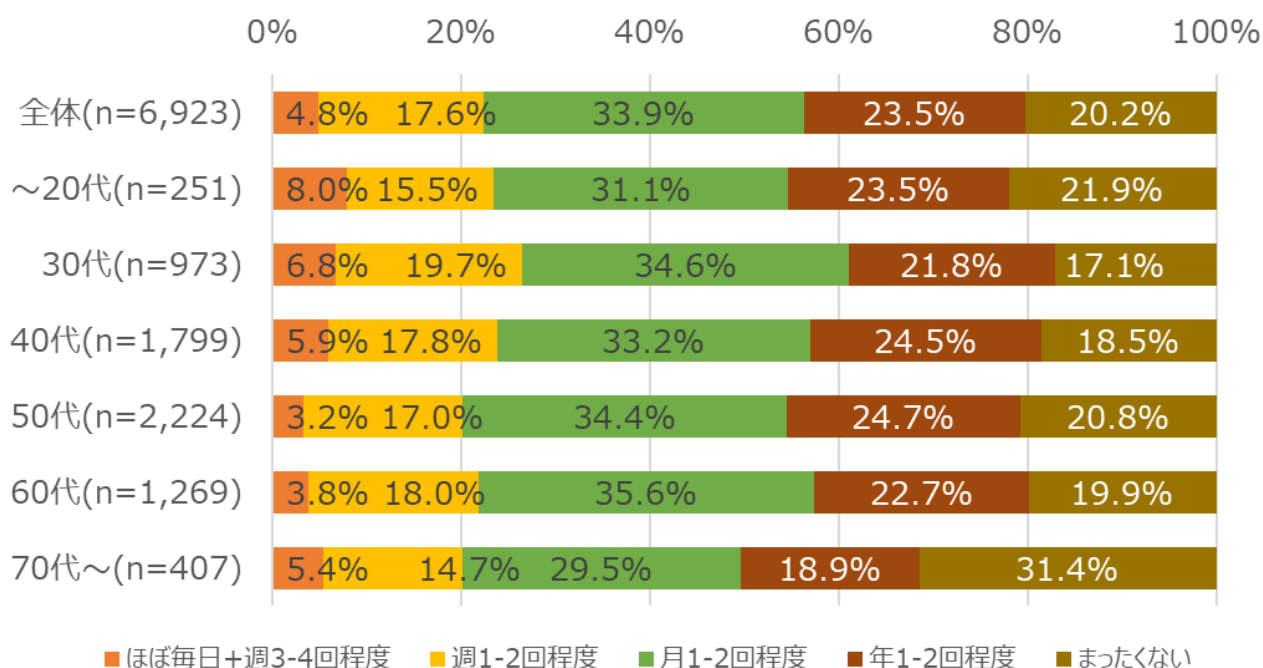
【過去比較】3-1.食品ロス発生頻度 SA、n 数は下表に記載

	第五回 2022年5月 n=	第四回 2021年9月	第三回 2021年1月	第二回 2020年7月	第一回 2019年7月	2022年5月－ 2019年7月増減
ほぼ毎日	2.3%	2.3%	2.3%	2.1%	1.9%	0.4%
週3-4回程度	2.5%	3.0%	2.7%	3.2%	3.8%	-1.3%
週1-2回程度	17.7%	18.8%	18.0%	20.1%	23.6%	-5.9%
月1-2回程度	34.0%	35.2%	36.0%	36.5%	41.0%	-7.0%
年1-2回程度	23.3%	22.5%	23.8%	21.0%	22.9%	0.4%
まったくない	20.2%	18.4%	17.1%	17.1%	6.7%	13.5%

3-2. 食品・食材を捨ててしまう（食品ロスにしてしまう）頻度（年代別）

「まったくない」は70代～が最も多く、その次が～20代となっていました。ほとんどの年代で「月1-2回程度」が最も多かったです。全体としては、前回から大きな変化は見られませんでした。

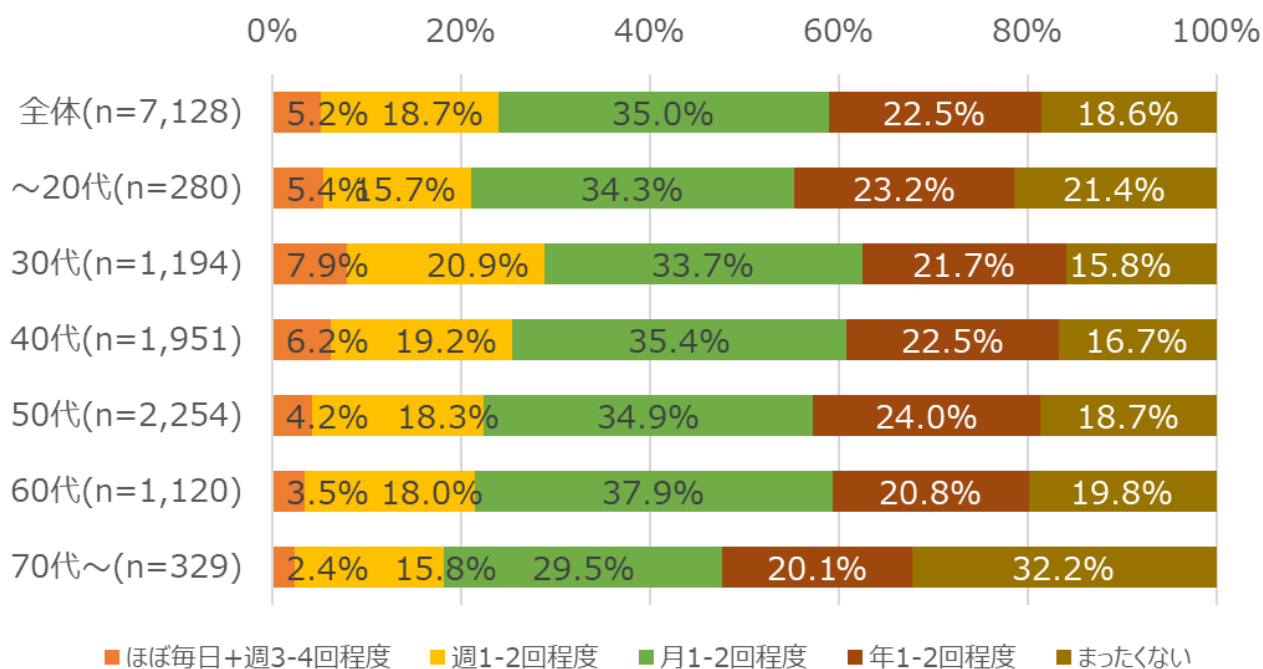
グラフ 3-2.食品ロス発生頻度（年代別） SA、n=6,923



【前回】3-2. 食品・食材を捨ててしまう（食品ロスにしてしまう）頻度（年代別）

年代別の傾向は、前回も大きな変化はありませんでした。～20代の捨ててしまう頻度が前々回に比べて減った点は、今回再び増加したため、一時的な変化であったと捉えています。

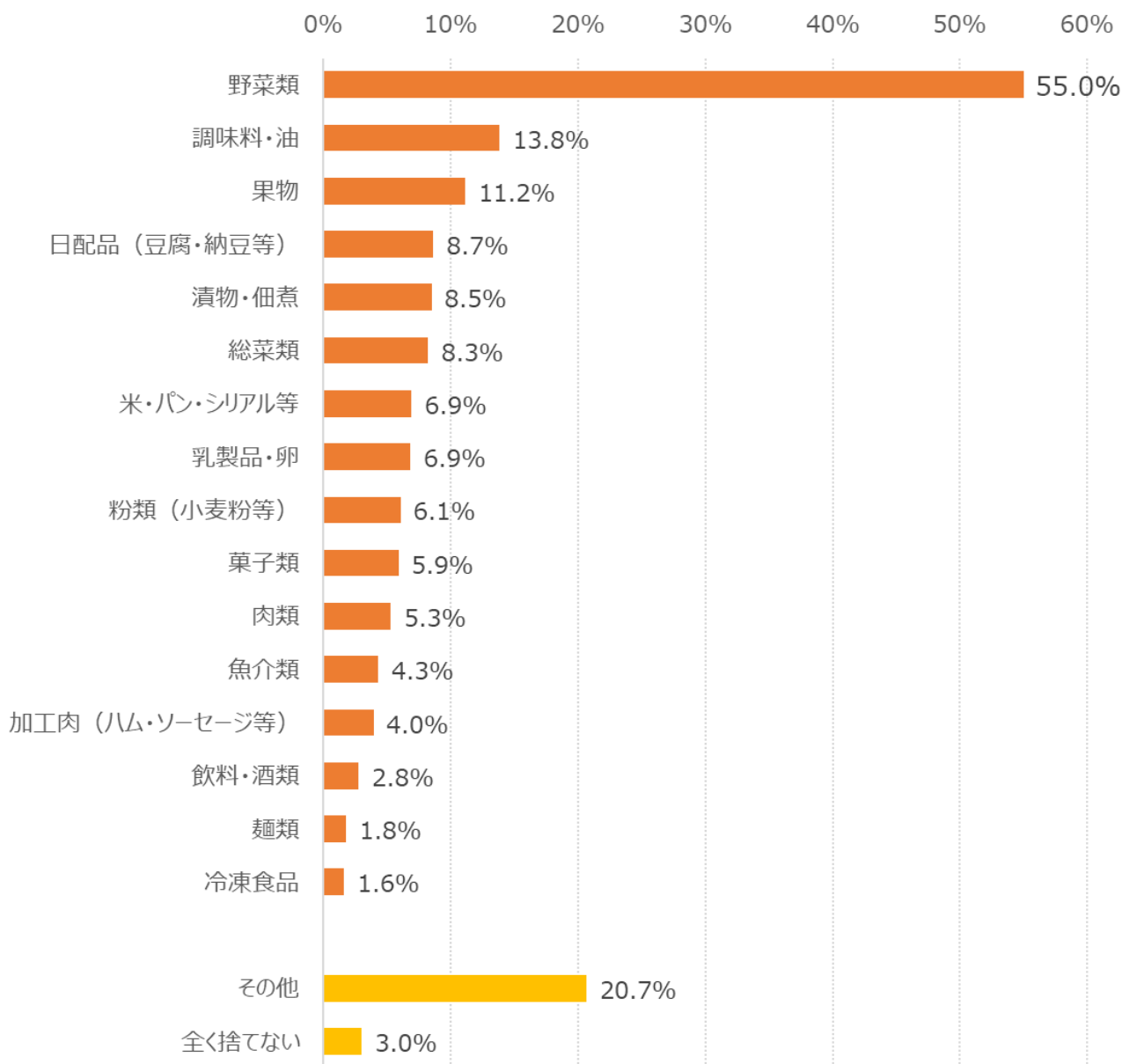
【前回】グラフ 3-2.食品ロス発生頻度（年代別） SA、n=7,128



4.捨ててしまいがちな食品・食材

最も多かったのは「野菜類」で 55.0%でした。次いで「調味料・油」13.8%、「果物」11.2%、「日配品」8.7%という結果で、前回と順位の入れ替わりはありませんでした。割合は調味料・油（+0.4%）以外は前回より減少しました。「全く捨てない」という方は今回 3.0%で、前回 3.4%から若干減少しました。

グラフ 4.捨ててしまいがちな食品・食材の割合 MA、n=7,226



【過去比較】4.捨ててしまいがちな食品・食材

「野菜類」をはじめ全般的に減少傾向にあります。「調味料・油」は、第一回（2019年7月）から減少率が低いのは、賞味期間が長く賞味期限の確認頻度が低いためと捉えています。「野菜類」「果物」も減少傾向ですが、捨ててしまいがちと回答される割合が、調査する時期・季節により大きく変動するものと推測しています。

【過去比較】4.捨ててしまいがちな食品・食材の割合

n 数は下表に記載

	第五回 2022年5月 n=	第四回 2021年9月	第三回 2021年1月	第二回 2020年7月	第一回 2019年7月	2022年5月－ 2019年7月増減
野菜類	55.0%	56.5%	53.6%	57.3%	68.1%	-13.1%
調味料・油	13.8%	13.4%	15.0%	14.5%	15.6%	-1.8%
果物	11.2%	11.3%	15.0%	10.8%	17.4%	-6.3%
日配品（豆腐・納豆等）	8.7%	9.1%	11.3%	11.1%	16.4%	-7.8%
漬物・佃煮	8.5%	8.8%	10.6%	9.7%	14.5%	-6.0%
総菜・惣菜類	8.3%	8.5%	8.8%	9.7%	13.4%	-5.1%
米・パン・シリアル等	6.9%	8.4%	7.9%	8.8%	13.3%	-6.3%
乳製品・卵	6.9%	7.2%	9.7%	8.6%	14.3%	-7.4%
粉類（小麦粉等）	6.1%	7.1%	7.3%	7.2%	10.2%	-4.1%
菓子類	5.9%	6.6%	7.0%	7.0%	10.9%	-4.9%
肉類	5.3%	5.3%	5.9%	6.1%	13.5%	-8.2%
魚介類	4.3%	4.4%	4.8%	5.2%	9.1%	-4.7%
加工肉（ハム・ソーセージ等）	4.0%	4.4%	5.3%	4.8%	8.1%	-4.1%
飲料・酒類	2.8%	2.4%	3.3%	3.0%	5.4%	-2.6%
麺類	1.8%	2.1%	2.2%	2.5%	5.3%	-3.5%
冷凍食品	1.6%	1.5%	2.1%	2.3%	5.0%	-3.3%

その他	20.7%	18.7%	17.6%	17.6%	-	-
全く捨てない	3.0%	3.4%	3.8%	3.2%	-	-

*第二回（2020年7月）アンケートから「その他（FA）」「全く捨てない」の項目を追加

5.最近捨ててしまった食品・食材

今回は「キャベツ」が7.6%で最多でした。次いで「きゅうり」6.9%、「もやし」4.9%、「レタス」4.8%、「パン・食パン」4.5%という結果でした。今回はじめて春季(5月)にアンケート調査を実施しましたが、夏季の「きゅうり」や冬季の「みかん」のように突出した食品・食材が無く、「キャベツ」が最も多くなるという結果につながりました。季節によって食品ロスにつながる食品・食材は変わるのでは?という仮説通りの結果だったと解釈しています。

表 5.最近捨ててしまった食品・食材ランキング FA、n=7,226

順位	食品・食材	回答割合	順位	食品・食材	回答割合
1	キャベツ	7.6%	26	ヨーグルト	1.5%
2	きゅうり	6.9%	27	ほうれん草	1.4%
3	もやし	4.9%	27	菓子・スナック菓子	1.4%
4	レタス	4.8%	29	卵	1.4%
5	パン・食パン	4.5%	30	イチゴ	1.3%
6	豆腐	4.2%	31	佃煮	1.3%
7	大根	3.8%	32	魚介類	1.2%
8	納豆	3.7%	33	豚肉	1.2%
9	牛乳	3.6%	34	ソース	1.2%
10	人参	3.2%	35	りんご	1.1%
11	長ねぎ	3.1%	36	果物	1.1%
12	玉ねぎ	2.9%	37	煮物	1.0%
13	白菜	2.5%	38	小松菜	1.0%
14	みかん	2.4%	39	生姜	0.9%
15	漬物	2.3%	40	にら	0.9%
16	じゃがいも	2.2%	40	ブロッコリー	0.9%
17	調味料	2.0%	42	たれ	0.9%
18	トマト	1.9%	43	油	0.8%
19	バナナ	1.9%	44	なす	0.8%
20	ドレッシング	1.8%	45	鶏肉	0.7%
21	ご飯	1.8%	46	かぼちゃ	0.7%
22	肉・肉類	1.8%	46	チーズ	0.7%
23	ハム・ソーセージ	1.6%	48	えのきたけ	0.7%
24	小麦粉	1.5%	49	ピーマン	0.7%
25	惣菜類	1.5%	50	ジャム	0.6%

*回答数をもとに順位づけしているため、同じ回答割合でも順位が異なる場合があります。

【前回比較】5.最近捨ててしまった食品・食材

コロナ禍に伴い家庭内食機会が増加し、家庭における食品ロス削減につながっている状況は続いているようです。前回（第四回・2021年9月）と比較すると「きゅうり」の割合は2/3程度になりました。それ以外の食品・食材に大きな変化はあまり見られませんでした。

その中で着目したのは今回12位の「玉ねぎ」です。2022年4月の価格は2015年以降で最高値*となった影響から、必要以上の購入が避けられ、食品ロスも減ったと推測します。

*出典：総務省統計局ホームページ（URL <https://jpmarket-conditions.com/1417/>）

【前回比較】表 5.最近捨ててしまった食品・食材ランキング

FA、n=7,226

FA、n=7,576

第五回（2022年5月）			第四回（2021年9月）		
順位	食品・食材	回答割合	順位	食品・食材	回答割合
1	キャベツ	7.6%	1	きゅうり	10.7%
2	きゅうり	6.9%	2	キャベツ	6.3%
3	もやし	4.9%	3	パン・食パン	6.0%
4	レタス	4.8%	4	レタス	4.9%
5	パン・食パン	4.5%	5	もやし	4.5%
6	豆腐	4.2%	6	豆腐	4.5%
7	大根	3.8%	7	玉ねぎ	4.0%
8	納豆	3.7%	8	トマト	4.0%
9	牛乳	3.6%	9	納豆	3.8%
10	人参	3.2%	10	牛乳	3.0%
11	長ねぎ	3.1%	11	大根	3.0%
12	玉ねぎ	2.9%	12	漬物	2.8%
13	白菜	2.5%	13	にんじん	2.7%
14	みかん	2.4%	14	バナナ	2.6%
15	漬物	2.3%	15	長ねぎ	2.6%
16	じゃがいも	2.2%	16	なす	2.6%
17	調味料	2.0%	17	ご飯	2.3%
18	トマト	1.9%	18	ドレッシング	2.2%
19	バナナ	1.9%	19	菓子・スナック菓子	2.2%
20	ドレッシング	1.8%	20	小麦粉	2.1%
21	ご飯	1.8%	21	惣菜類	2.0%
22	肉・肉類	1.8%	22	肉類	1.9%
23	ハム・ソーセージ	1.6%	23	卵	1.9%
24	小麦粉	1.5%	24	じゃがいも	1.8%
25	惣菜類	1.5%	24	ピーマン	1.8%

*回答数をもとに順位づけしているため、同じ回答割合でも順位が異なる場合があります。

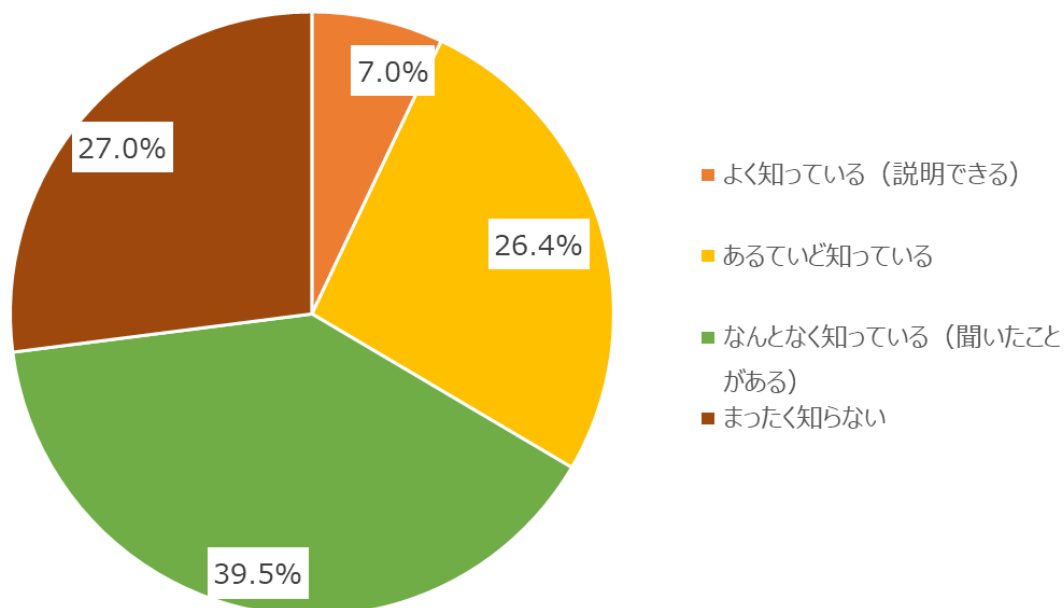
<以下設問には、子どもの方に回答いただきました>

※お子さまの年齢：18 歳以下の回答のみ集計しています。

6. 子どもの食品ロス問題認知率

「よく知っている：7.0%」「あるていど知っている：26.4%」「なんとなく知っている：39.5%」で「なんとなく知っている」以上の認知率は 72.9%でした。「まったく知らない：27.0%」で、大人の「まったく知らない：0.9%」とは大きな差がありました。食品ロス問題は、子どもたち全員が知っているほどの認知率ではまだないと捉えています。

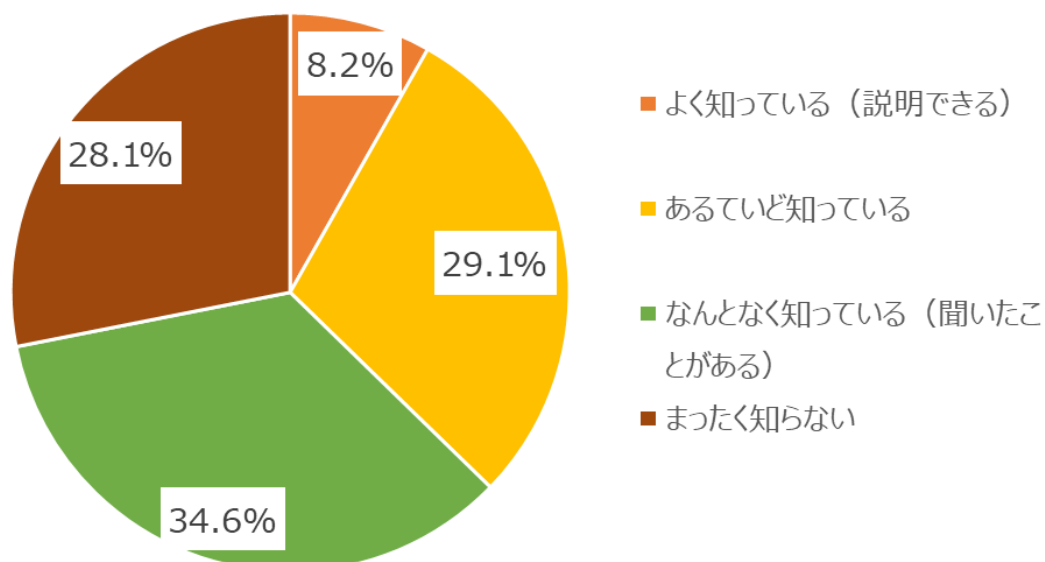
6. 子どもの食品ロス問題認知率 SA、n=1,532



【前回】6. 子どもの食品ロス問題認知率

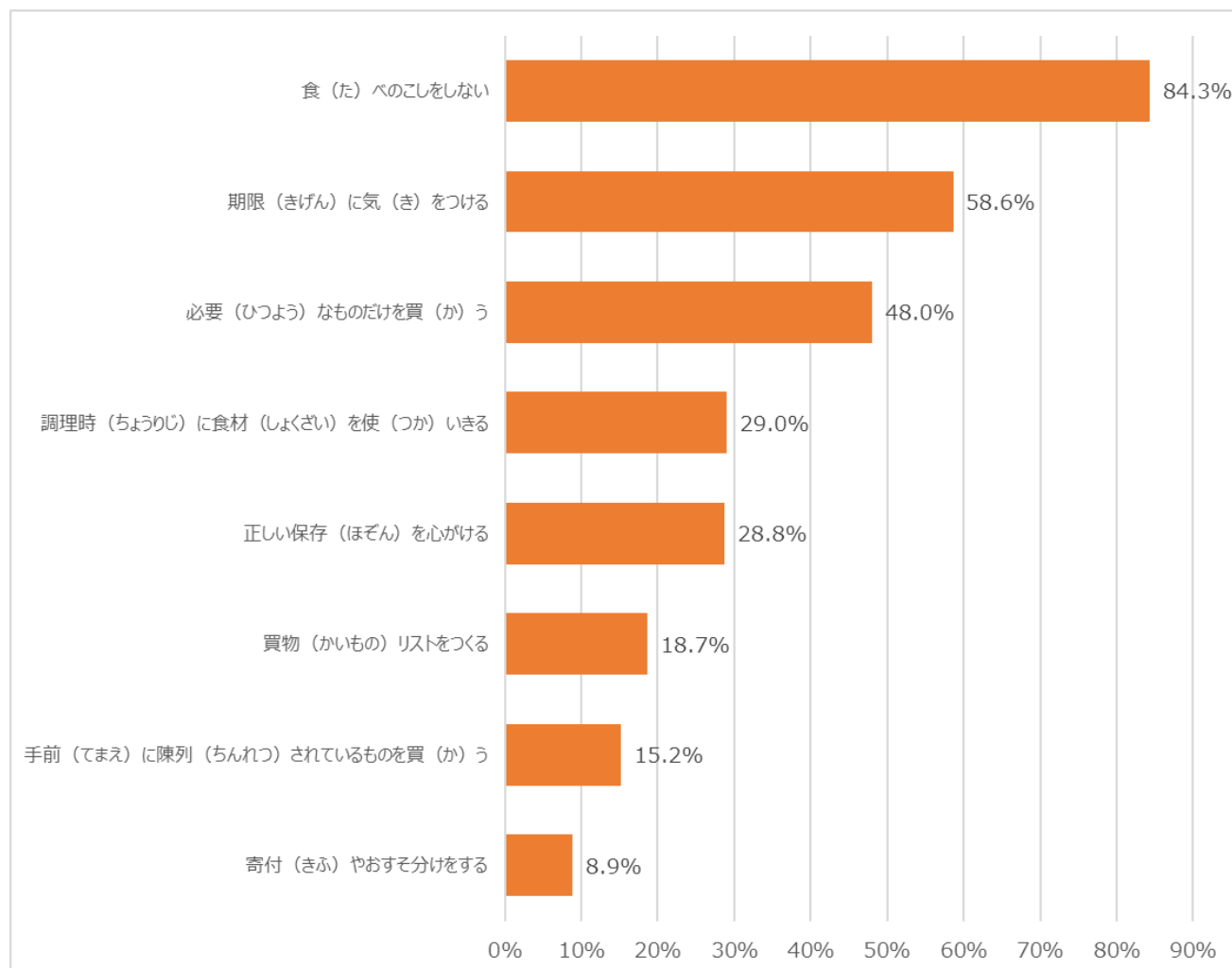
前回の調査では「よく知っている：8.2%」「あるていど知っている：29.1%」「なんとなく知っている：34.6%」でした。「まったく知らない：28.1%」で、大人の「まったく知らない：1.2%」と比較すると、今回同様に大きなギャップがありました。

【前回】6. 子どもの食品ロス問題認知率 SA、n=1,768



7. お子さまといっしょに「食品ロス」を減（へ）らすために、やっていること MA、n=1,532

食品ロス問題への取り組みとしては、「食べ残しをしない：84.3%」が最多でした。次いで「期限に気をつける：58.6%」「必要なものだけを買う：48.0%」「調理時に食材を使い切る：29.0%」「正しい保存を心がける：28.8%」が続きました。ロスになりがちな食品・食材を美味しく使い切る・食べることや、消費期限・賞味期限など正しく理解いただく啓発活動を今後も継続していければと考えています。



＜補足情報＞

【第五回（今回） 基礎情報】

- 性別 （n=7,226）
男性：29.2%／女性：67.4%／不明・未回答：3.3%
- 年代 （n=6,923）※性別・年齢「不明・未回答」の方を除く年代構成比
10～20代：3.6%／30代：14.1%／40代：26.0%
50代：32.1%／60代：18.3%／70代～：5.9%
- Q6以降の子ども情報
有効回答数：n=1,796（うち、18歳以下 n=1,532）

【第四回（前回） 基礎情報】

- 性別 （n=7,576）
男性：26.5%／女性：68.1%／不明・未回答：5.5%
- 年代 （n=7,119）※性別・年齢「不明・未回答」の方を除く年代構成比
10～20代：3.6%／30代：15.8%／40代：25.8%
50代：29.8%／60代：14.8%／70代～：4.3%
- Q6以降の子ども情報
有効回答数：n=2,114（うち、18歳以下 n=1,768）

【第三回（前々回） 基礎情報】

- 性別 （n=8,979）
男性：23.4%／女性：74.3%／不明・未回答：2.3%
- 年代 （n=8,760）※性別・年齢「不明・未回答」の方を除く年代構成比
10～20代：4.7%／30代：19.5%／40代：28.6%
50代：30.2%／60代：13.1%／70代～：3.9%

【第二回 基礎情報】

- 性別 （n=6,990）
男性：21.0%／女性：59.5%／不明・未回答：19.5%
- 年代 （n=3,350）※性別・年齢「不明・未回答」の方を除く年代構成比
10～20代：2.3%／30代：13.6%／40代：27.8%
50代：34.1%／60代：17.0%／70代～：5.2%

【第一回 基礎情報】

- 性別 （n=6,357）
男性：21.6%／女性：69.9%／不明：8.4%
- 年代 （n=5,721）※年齢「不明」の方を除く年代構成比
10～20代：2.5%／30代：13.5%／40代：30.9%
50代：30.2%／60代：11.0%／70代～：2.0%